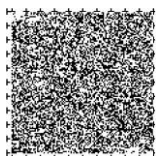
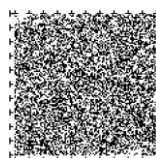


V 調査票





V 調査票

第9回久留米市男女平等に関する市民意識調査

【ご記入にあたってのお願い】

- ◆この調査は、あて名のご本人が教えてください。
- ◆ご本人による記入が難しい場合は、ご家族や第三者による代筆で、ご記入ください。
- ◆調査票や返信用の封筒には住所・氏名を記入する必要はありません。ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理いたします。個人が特定されることはありませんので、ぜひ、率直にお答えください。
- ◆回答期限は、令和6年10月4日（金）[郵送の場合：当日消印有効] までです。

【インターネットで回答する場合】

- ◆URL にアクセス、または QR コードを読み取ります。
- ◆下記の「ID」とパスワードを最初に入力して回答を開始してください。
- ◆重複回答を防止するため、ID とパスワードを使用していますが、個人を特定するものではありません。



URL <https://is.gd/TDjuKT>



【郵送で回答する場合】

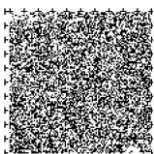
- ◆あてはまる回答の番号や記号に「○印」をつけてください。回答枠に「○印」を記入する場合もあります。「○印」をつける数は質問によって異なります。
- ◆設問の前に【 】で回答対象条件が記載されている場合は、条件にあてはまる場合のみ回答してください。
- ◆選んだ回答に矢印（→）がついている場合は、矢印（→）にしたがって次の問へ進んでください。
- ◆「その他」を選択する場合は、回答番号に○印をつけて、（ ）にその内容を具体的に記入してください。
- ◆調査票の記入が終わりましたら、同封の「返信用封筒」に入れ、投函してください。切手は不要です。

- ◆この調査は、エイジス九州株式会社に委託して実施しております。
- ◆ご不明な点などがありましたら、下記までお問い合わせください。

《問い合わせ先》

久留米市 協働推進部 男女平等政策課

電話：0942-30-9044 FAX：0942-30-9703



以下の質問は、調査結果を統計的に整理するための必要なものです。
ご記入に、ご協力をお願いします。

F 1. あなたの性別は、どれにあてはまりますか。あてはまるものを1つ選び○印をつけてください。

1. 女性 2. 男性 3. ()

F 2. あなたの満年齢は、どれにあてはまりますか。あてはまるものを1つ選び○印をつけてください。

1. 15・16・17歳 2. 18・19歳 3. 20歳代 4. 30歳代
5. 40歳代 6. 50歳代 7. 60～64歳 8. 65～69歳
9. 70～74歳 10. 75歳以上

F 3. あなたの現在の同居家族の構成は、次のどれにあてはまりますか。あてはまるものを1つ選び○印をつけてください。

1. 単身 2. 夫婦・パートナーのみ 3. 親・子（2世代）
4. 親・子・孫（3世代） 5. その他（具体的に： ）

F 4. あなたの職業はどれにあてはまりますか。あてはまるものを1つ選び○印をつけてください。

1. 正規雇用労働者（会社員・公務員など）
2. 非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど） 3. 会社役員
4. 農林漁業（家族従事者含む） 5. 自営業（家族従事者含む） 6. 主夫・主婦
7. 学生・高校生 8. 無職 9. その他（具体的に： ）

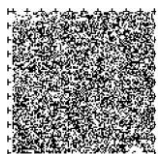
F 5. 【18歳以上の方におたずねします】

あなたは、現在結婚していますか（事実婚を含みます）。あてはまるものを1つ選び○印をつけてください。

1. 結婚している 2. 配偶者（パートナー）と離別
3. 配偶者（パートナーと死別） 4. 結婚していない

付問 1. 【F5.で「結婚している」と答えた方におたずねします】

あなたの配偶者・パートナー（夫・妻・恋人）の職業は、次のどれにあたりますか。あてはまるものを1つ選び○印をつけてください。



1. 正^{せい}規^き雇^こ用^{よう}労^{らう}働^{どう}者^{しゃ}（会^{かい}社^{しゃ}員^{いん}・公^{こう}務^む員^{いん}など）
2. 非^ひ正^{せい}規^き雇^こ用^{よう}労^{らう}働^{どう}者^{しゃ}（契^{けい}約^{やく}社^{しゃ}員^{いん}・パ^パー^{パート}・ア^アル^{アルバイト}バ^{バイト}イ^イト^トなど）
3. 会^{かい}社^{しゃ}役^{やく}員^{いん}
4. 農^{のう}林^{りん}漁^{ぎょ}業^{ぎょう}（家^か族^{ぞく}従^{じゅう}事^じ者^{しゃ}含^{ふく}む）
5. 自^じ営^{えい}業^{ぎょう}（家^か族^{ぞく}従^{じゅう}事^じ者^{しゃ}含^{ふく}む）
6. 主^{しゅ}夫^ふ・主^{しゅ}婦^ふ
7. 学^{がく}生^{せい}・高^{こう}校^{こう}生^{せい}
8. 無^む職^{しょく}
9. そ^たの^く他^{たい}（具^く体^{たい}的^{てき}に：

F 6. あなたにはお^こ子^{ども}さん^がい^{どうきよ}ま^{ばあい}す^{ふく}か。 (同^{どう}居^{きよ}し^てい^{ない}な^い場^{ばあい}合^あひ^も含^{ふく}み^ます)。あ^えて^はま^るも^のを^を1^{えら}つ^ら選^{えら}び^ら○^し印^しをつ^つけ^てく^ださ^いい。

1. いる 2. いない

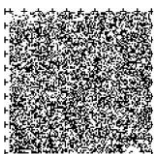
付^ふ問^{もん} 1. 【F 6.で「いる」と答^{こた}え^{かた}た^た方^{かた}に^にお^おた^たず^ずね^ねし^しま^ます】

あ^こな^こた^この^こお^こ子^{ども}さん^がに^につ^つい^いて、あ^えて^はま^るも^のの^のす^すべ^べて^てに○^し印^しをつ^つけ^てく^ださ^いい。

1. 3^{さい}歳^{さい}未^み満^{まん}の^{にゅうようじ}乳^{にゅう}幼^{よう}児^じ
2. 3^{さい}歳^{さい}以^い上^{じょう}の^{みしゅうがくじ}未^み就^{じゅう}学^{がく}児^じ
3. 小^{しょう}学^{がっこう}校^{こう} 1^{ねんせい}～3^{せい}年^{ねん}生^{せい}
4. 小^{しょう}学^{がっこう}校^{こう} 4^{ねんせい}～6^{せい}年^{ねん}生^{せい}
5. 中^{ちゅう}学^{がくせい}生^{せい}
6. 高^{こう}校^{こう}生^{せい}
7. 大^{だい}学^{がくせい}生^{せい}・社^{しゃ}会^{かい}人^{じん}

F 7. あ^{すま}な^{ごうく}た^{ごうく}の^{ごうく}お^{ごうく}住^{すま}い^{ごうく}の^{ごうく}校^{ごうく}区^くは^はど^どち^ちら^らで^です^すか。あ^えて^はま^るも^のを^を1^{えら}つ^ら選^{えら}び^ら○^し印^しをつ^つけ^てく^ださ^いい。

1. 西^{にし}国^{こく}分^{ぶん}
2. 庄^{しょう}島^{じま}
3. 日^ひ吉^{よし}
4. 篠^{ささ}山^{やま}
5. 京^{きょう}町^{まち}
6. 南^{なん}薫^{くん}
7. 鳥^{とり}飼^{かい}
8. 長^{なが}門^{もん}石^{いし}
9. 小^こ森^{もり}野^の
10. 金^{かな}丸^{まる}
11. 東^{ひがし}国^{こく}分^{ぶん}
12. 御^み井^い
13. 南^{みなみ}
14. 合^{あい}川^{かわ}
15. 山^{やま}川^{かわ}
16. 上^{かみ}津^つ
17. 高^{こう}良^{らう}内^{うち}
18. 宮^{みや}ノ^の陣^{じん}
19. 山^{やま}本^{もと}
20. 草^{くさ}野^の
21. 安^{やす}武^{たけ}
22. 荒^{あら}木^き
23. 大^{だい}善^{ぜん}寺^じ
24. 善^{ぜん}導^{どう}寺^じ
25. 大^{おお}橋^{はし}
26. 青^{せい}峰^{ほう}
27. 津^つ福^{ふく}
28. 船^{ふな}越^{ごし}
29. 水^み縄^{のう}
30. 田^た主^{ぬし}丸^{まる}
31. 水^{みず}分^{わけ}
32. 竹^{たけ}野^の
33. 川^{かわ}会^{かい}
34. 柴^{しば}刈^{かり}
35. 弓^ゆ削^げ
36. 北^{きた}野^の
37. 大^{おお}城^き
38. 金^{かね}島^{しま}
39. 城^{じょう}島^{じま}
40. 下^{しも}田^だ
41. 江^え上^{がみ}
42. 青^{あお}木^き
43. 浮^{うき}島^{しま}
44. 西^{にし}牟^む田^た
45. 犬^{いぬ}塚^{づか}
46. 三^{みつ}瀧^{たま}
47. わ^{すま}か^{ちようめい}ら^{ちようめい}な^{ちようめい}い^{ちようめい}（お^お住^{すま}い^{ちようめい}の^{ちようめい}町^{まち}名^な：



◆男女平等に関する考え方についておたずねします

問1. あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方をどのように思いますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 同感する | 2. ある程度同感する |
| 3. あまり同感しない | 4. 同感しない |

付問1. 【「同感する」、「ある程度同感する」と回答した方におたずねします】

同感すると思う理由はなぜですか。あてはまるものをすべて選び○印をつけてください。

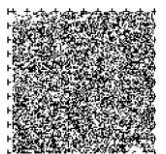
1. 妻が家庭を守った方が、こどもの成長などにとって良いと思うから
2. 育児・介護・家事と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから
3. 夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから
4. 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから
5. 自分の両親も役割分担をしていたから
6. その他（具体的に： _____）

付問2. 【「同感しない」、「あまり同感しない」と回答した方におたずねします】

同感しないと思う理由はなぜですか。あてはまるものをすべて選び○印をつけてください。

1. 固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから
2. 夫も妻も働いた方が、多くの収入が得られると思うから
3. 妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから
4. 男女平等に反すると思うから
5. 育児・介護・家事と両立しながら、妻が働き続けることは可能だと思うから
6. 自分の両親も外で働いていたから
7. その他（具体的に： _____）

問2. あなたは、次にあげる分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。（ア）から（ク）のそれぞれについて、あなたの考えに近いものを1つずつ選び○印をつけてください。



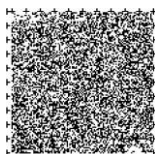
	女性の方が優遇されている じょせいの方がゆうぐいされている	どちらかといえば女性の方が ゆうぐいされている	平 等 びんとう	どちらかといえば男性の方が ゆうぐいされている	男性の方が優遇されている だんせいの方がゆうぐいされている
(ア) 家庭生活では かていせいいかつ					
(イ) 職場では しよくば					
(ウ) 学校教育の場では がっこうきょういくば					
(エ) 地域活動・社会活動の場では ちいきかつどうしゃかいかつどうば					
(オ) 政治の場では せいじば					
(カ) 法律や制度のうえでは ほうりつせいど					
(キ) 社会の慣習・しきたりなどでは しゃかいかんしゅう					
(ク) 社会全体では しゃかいぜんたい					

問3. 世界経済フォーラム 2024年に公表したジェンダー・ギャップ指数(※)において日本は146
か国中118位となっています。「教育」「健康」の分野は世界トップクラスですが、「政治」
「経済」の分野の値が低い状況です。

政治、行政、企業、地域などにおいて、政策・方針決定の過程に女性が進出していない理由
は何だと思いませんか。あてはまるものを3つまで選び番号に○印をつけてください。

(※)ジェンダー・ギャップ指数：世界経済フォーラムが、経済、教育、健康、政治の分野毎に各データをウェイト付けしたもの。

1. 男性優位の組織運営になっているから
だんせいゆうい そしきうんえい
2. 家庭、職場、地域などで、男女で役割を分ける意識が根強いから
かてい しよくば ちいき だんじょ やくわり わ いしき ねづよ
3. 女性をリーダーとして育てようとする社会風土が形成されていないから
じょせい そだ しゃかいふうど けいせい
4. 家族の支援・協力が得られないから
かぞく しえん きょうりよく え
5. 家事・育児や介護に支障がでるから
かじ いくじ かいご ししょう
6. 女性の能力開発の機会が不十分だから
じょせい のうりよくかいはつ きかい ふじゅうぶん
7. 女性の積極性が十分でないから
じょせい せっきよくせい じゅうぶん
8. その他(具体的に：
た ぐたいてき
9. わからない



◆仕事や家庭、ワーク・ライフ・バランスに関することからについておたずねします

問4. 【配偶者・パートナーと同居している方におたずねします】

あなたのご家庭では、次にあげるような家庭内の仕事を、主にどなたがしていますか。(ア) から (ケ) のそれぞれについて、あてはまるものを1つずつ選び○印をつけてください。

	主におも 主に妻が行っている おつと おこな	主におも 主に妻が行い、夫が おつと おこな	主におも 主と夫が同じ程度に おつと おこな	主におも 一部を分担している おつと おこな	主におも 主に夫が行い、妻が おつと おこな	主におも 主に夫が行っている おつと おこな
(ア) 生活費を得る						
(イ) 炊事、掃除、洗濯などの家事をする						
(ウ) 日々の家計を管理する						
(エ) 育児、子どものしつけをする						
(オ) 親などの世話（介護）をする						
(カ) 自治会・町内会などの地域活動を行う						
(キ) 保育所・幼稚園・学校等の行事や活動に参加する						
(ク) 子どもの教育方針や進学目標を決める						
(ケ) 高額の商品や土地・家屋の購入を決める						

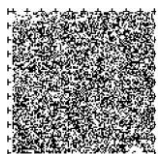
付問1. 【配偶者・パートナーと同居している方におたずねします】

また、あなたが、今後、これまで以上にやりたいことは何ですか。あてはまるものすべてを選び○印をつけてください。

- (ア) 生活費を得る (イ) 炊事、掃除、洗濯などの家事をする
 (ウ) 日々の家計を管理する (エ) 育児、子どものしつけをする
 (オ) 親などの世話（介護）をする (カ) 自治会・町内会などの地域活動を行う
 (キ) 保育所・幼稚園・学校等の行事や活動に参加する
 (ク) 子どもの教育方針や進学目標を決める
 (ケ) 高額の商品や土地・家屋の購入を決める (コ) 特になし

問5. あなたは、次にあげるような活動を平日に1日平均して何時間くらいしていますか。

(日曜・休日などは含めない)。(ア) から (カ) のそれぞれについて、あてはまるものを1つずつ選び○印をつけてください。



	対象者がいない 8時間以上 じかんいじょう	6～8時間未満 じかんみまん	4～6時間未満 じかんみまん	2～4時間未満 じかんみまん	1～2時間未満 じかんみまん	30分～1時間未満 ふん じかんみまん	30分未満 ふんみまん	していない
(ア) 炊事、掃除、洗濯などの時間 すいじ そうじ せんたく じかん								
(イ) 育児などの時間 いくじ じかん								
(ウ) 介護などの時間 かいご じかん								
(エ) 収入を得る仕事の時間 しゅうにゅう え しごと じかん (通勤時間を含む) つうきんじかん ふくむ								
(オ) 睡眠時間 すいみんじかん								
(カ) 自分が自由に使える時間 じぶん じゆう つか じかん (余暇・ボランティアなど) よ か								

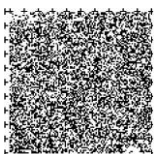
問6. 女性の育児休業取得率は80.2%であるのに対し、男性の育児休業取得率は17.13%(厚生労働省：令和4年度雇用均等基本調査)となっています。

あなたは男性が育児休業等を取得しない(できない)理由は何だと思いますか。あなたの考えに近いものを2つまで選び番号に○印をつけてください。

1. 周囲に取った男性がいないから
2. 職場に取りやすい雰囲気がないから
3. 仕事が忙しいから
4. 取ると仕事上周囲の人に迷惑がかかるから
5. 取ると人事評価や昇給に悪い影響があるから
6. 経済的に困るから
7. 育児・介護は女性の方が担うものなので男性がとる必要はないから
8. その他(具体的に：)
9. わからない

問7. 男女がともに働き、介護と仕事を両立させていく環境を作るためにどのようなことが必要であると思いますか。あなたのお考えに近いものを2つまで選び番号に○印をつけてください。

1. 男女共に介護に参加できるような職場の意識の形成
2. 介護休業期間中の経済的支援の充実
3. 長時間労働の見直し
4. 介護保険制度の周知
5. その他(具体的に：)
6. 特にない



問8. 【現在、職種や勤務形態に関わらず、職業に就いている方におたずねします】

次にあげることがらの中で、現在のあなたの職場の女性にあてはまることがありますか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

1. 採用人数などで差があり、女性は男性より採用されづらくなっている
2. 女性の昇進・昇格が遅い、または望めない
3. 同期に同年齢で入社した男性との賃金・給料の差がある
4. 女性の仕事を補助的業務に限っている
5. 女性のみ、もしくは男性のみしか配置しない部署がある
6. 女性にはつけないポスト・職種がある
7. 女性は、同じポストの男性より、社内研修・教育訓練を受ける機会が少ない
8. 女性は、同じポストの男性より、出張・視察等の機会が少ない
9. 定年の年齢に男女差がある（慣行を含む）
10. 結婚や出産時に退職する慣行や退職を迫るような圧力がある。
11. 性別により家族手当、住居手当などがつかない、資金貸付や社宅に入居できないなどの不利益がある
12. その他（具体的に： _____）
13. 特にない

問9. ふだんの生活の中での「仕事」と「家庭生活・プライベート」の優先度についておたずねします。

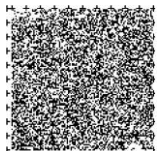
（A）希望と（B）現実のそれぞれについて、あなたのお考えに近いものを1つずつ選び番号に○印をつけてください。※現在、職業についていない方は、「（A）希望」のみ、お答えください。

（A）希望

1. 「仕事」に専念
2. 「仕事」を優先
3. 「仕事」と「家庭生活・プライベート」を両立
4. 「家庭生活・プライベート」を優先
5. 「家庭生活・プライベート」に専念
6. わからない

（B）現実（現在、職業についている方のみお答えください。）

1. 「仕事」に専念
2. 「仕事」を優先
3. 「仕事」と「家庭生活・プライベート」を両立
4. 「家庭生活・プライベート」を優先
5. 「家庭生活・プライベート」に専念
6. わからない



問10. 【現在、職種や勤務形態に関わらず、職業に就いている方におたずねします】

あなたは、ワーク・ライフ・バランス（※）を実現できていますか。

あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

1. 実現できている
2. やや実現できている
3. あまり実現できていない
4. 実現できていない

（※）ワーク・ライフ・バランス：仕事、家庭生活など様々な活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態

問11. ワーク・ライフ・バランスの実現には何が重要だと思いますか。あなたのお考えに近いものから3つまで選び番号に○印をつけてください。

1. 長時間労働の抑制
2. 年次有給休暇の取得促進
3. 事業主や管理職の意識改革
4. 育児休業・介護休業などの両立支援制度の取得促進
5. テレワークの普及促進
6. 地域の子育て支援活動の促進
7. 病児保育などの多様な保育サービスの提供
8. 高学年児童の受け入れなど学童保育所の充実
9. その他（具体的に： ）
10. 特になし

問12. 【現在、職業に就いていない方（主婦・主夫または無職の方）におたずねします】

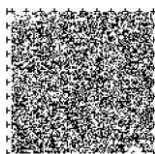
現在、職業についていない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

1. 仕事内容、勤務場所、勤務時間、賃金などの勤務条件があう仕事がないから
2. 家事・育児・介護の役目を自分が担わざるをえないから
3. 健康や体力の面で不安があるから
4. 家族が働くことを望まないから
5. 今は、家事・育児・介護に専念したいから
6. 経済的に働く必要が無いから
7. その他（具体的に： ）

付問1. 【現在、職業に就いていない方（主婦・主夫または無職の方）におたずねします】

あなたは今後、職業に就きたいと思いますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

1. 職業につきたい
2. 職業につくつもりはない



問13. 【非正規雇用の方におたずねします】

現在の就業形態を選んだ理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

1. 自分の都合のよい時間に働けるから
2. 家庭（家事・育児・介護など）・プライベートと両立しやすいから
3. 専門的な資格・技能を活かせるから
4. 通勤時間が短いから
5. 勤務時間や労働日数が短いから
6. 正規雇用として働ける会社があったから
7. 簡単な仕事で責任も少ないから
8. 就業調整したいから
9. 健康や体力面で不安があるから
10. その他（具体的に： _____）

付問1. 【非正規雇用の方におたずねします】

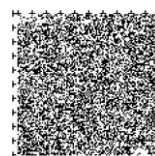
あなたは今後、正規雇用の職に就きたいと思いますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

1. 正規雇用の職に就きたい
2. 正規雇用の職に就くつもりはない

問14. 過去1年間に、出産・育児や介護・看護を理由として離職した人は、男性が3.3万人に対して、女性が22.1万人（総務省：就業構造基本調査）となっています。

女性が職業をもち、働き続けるためにはどのようなことが必要だと思いますか。あなたのお考えに近いものから3つまで選び番号に○印をつけてください。
（※選択肢は次のページにつづきます。）

1. 賃金の男女格差を改める
2. 昇進・昇格の男女格差を改める
3. 職能訓練や研修を行ったり、挑戦の機会を設けたりするなどの女性の能力向上を図る
4. 女性の能力を正當に評価し、積極的に管理職に登用する
5. 残業や休日出勤ができないことで不利な扱いをしない
6. 結婚したり出産したりすると勤めにくいような慣習を改める
7. 育児休業や短時間勤務などの仕事と家庭が両立できる制度を充実する
8. 労働時間の短縮や在宅勤務などの普及など、多様な働き方の見直しを進める
9. 仕事と家庭が両立できる制度が利用しやすい職場の雰囲気づくりをする
10. 女性が働くことについて、上司や同僚の認識を改める



11. 男性の家事・育児・介護などへの参加を促すための啓発をする
12. 結婚・出産・介護などの都合でいったん退職した女性のための再雇用制度を普及、促進する
13. 求人・職業情報を積極的に提供する
14. 職業生活を続けていく上での相談窓口を充実する
15. リスキリング（※）などの機会の提供
16. 特に無い
17. その他（具体的に： _____）

（※）リスキリング：新しい職業に就くために、あるいは、今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に適応するために、必要なスキルを獲得する／させること。

◆社会活動などへの参加・参画についておたずねします

問15. あなたは現在、自治会・校区コミュニティ組織の活動や子ども会・ボランティア活動などの地域活動に参加していますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

1. 参加している
2. 参加していない

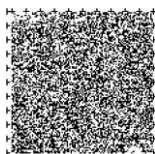
→問16.へ

付問1. 【問15. で「参加していない」と答えた方におたずねします】

その理由はなんですか。あてはまるものを3つまで選び番号に○印をつけてください。

1. 仕事が忙しくて時間がないから
2. 家事・育児・介護などで忙しくて時間がないから
3. 活動参加の誘いを受けたことがないから
4. 家族の理解や協力が得られないから
5. 経済的に余裕がないから
6. 活動の時間が合わないから
7. 一緒に活動する仲間がいないから
8. 地域活動に関する情報が少ないから（活動内容や参加方法がわからないから）
9. 地域活動に関心がないから
10. その他（ _____ ）

問16. 地域活動（自治会・校区コミュニティ組織の活動や子ども会・ボランティア活動など）での男女の役割分担についておたずねします。地域活動の現状について（ア）から（ク）のそれぞれについてあてはまるものを1つずつ選び○印をつけてください。



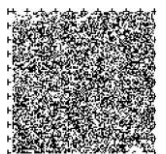
	そうしている	そうしていない	現状を知らない
(ア) 催し物の企画などは主に男性が決定している			
(イ) 地域活動は男性が取り仕切る			
(ウ) 地域での集会の時には、女性がお茶くみや後片づけをしている			
(エ) 地域の役員はほとんど男性になっている			
(オ) 地域での集会では男性が上座に座る			
(カ) 女性の発言が少ない			
(キ) 自治委員などの登録は男性(夫)だが、会議の出席は女性(妻)が出ることが多い			
(ク) 同じ作業に参加しても女性には出不足金がある			

※出不足金・・・地域活動の作業で女性が出た場合にその世帯からは不足金を徴収する地域のルール。

付問 1. 【問 16. で「そうしている」と回答した方におたずねします】

今後はどうすべきだと思いますか。(ア) から (ク) のそれぞれについてあてはまるものを1つずつ選び○印をつけてください。(※選択肢は次のページにつづきます。)

	現状のままでいい	改善すべき	わからない
(ア) 催し物の企画などは主に男性が決定している			
(イ) 地域活動は男性が取り仕切る			
(ウ) 地域での集会の時には、女性がお茶くみや後片づけをしている			
(エ) 地域の役員はほとんど男性になっている			
(オ) 地域での集会では男性が上座に座る			



	現状のままでいい げんじょう いい	改善すべき かいぜん べき	わからない わからない
(カ) 女性の発言が少ない じょせい はつげん すく			
(キ) 自治委員などの登録は男性(夫)だが、会議の出席は女性(妻)が じ ち い い ん と う る く だ ん せい お と かいぎ し ゅ っ せ き じょせい つ ま で 出 る こ と が おお い			
(ク) 同じ作業に参加しても女性には出不足金※がある お な さ き ょ う さ ん か じょせい で ぶ そ く き ん ※ が あ る			

問17. 令和6年6月1日現在、久留米市の自治会長における女性の割合は9.0%となっています。
自治会長や校区コミュニティ組織の会長、PTA会長などの地域の役職について、女性
の方は、もし、あなた自身が推薦されたら引き受けますか。男性の方は、妻などの身近な女性
が推薦されたとしたら引き受けることをすすめますか。あてはまるものを1つ選び番号に○
印をつけてください。

1. 引き受ける（引き受けることをすすめる）

2. 断る（断ることをすすめる）

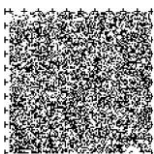
付問1. 【問17で2.「断る（断ることをすすめる）」と答えた方におたずねします】

その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

1. 家族の協力が得られないから
2. 女性が役職につくことを快く思わない社会通念があるから
3. 仕事に支障がでるから
4. 家事・育児や介護に支障がでるから
5. 役職につく知識や経験がないから
6. 女性には向いていないから
7. その他（具体的に： ）

問18. あなたは、地域活動における女性リーダーを増やすためには、どのようなことが必要だと
思いますか。あなたのお考えに最も近いものを2つまで選び番号に○印をつけてください。
（※選択肢は次のページにつづきます。）

1. 男性中心の社会通念や慣習を改めるための啓発活動を実施する
2. 女性のリーダーを養成するための講座やセミナーを開催する
3. 育児や介護を支援するための施策を充実させる
4. 家族が家事・育児を分担する



5. さまざまな立場の人が参加しやすいよう、活動時間帯を工夫する
6. その他（具体的に： _____）
7. わからない

◆DVやセクハラについておたずねします

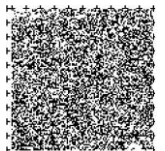
問19. あなたは、ドメスティック・バイオレンス：DV（配偶者・パートナーや恋人からの暴力）を人権侵害だと思いませんか。

1. 思う 2. 思わない 3. 分からない

問20. 次のことが配偶者（婚姻届を出していない事実婚や別居 中も含む）や交際相手の間で行われた場合、暴力だと思いませんか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選び、○印をつけてください。

	た ら と 思 う	ど ん な 場 合 で も 暴 力 に あ る	で な い 場 合 も あ る と 思 う	暴 力 に あ た る 場 合 も そ う	い い 暴 力 に あ た る と は 思 わ な い	わ か ら な い
(ア) 大声でどなる						
(イ) 殴る、蹴る						
(ウ) 「誰のおかげで生活できるんだ」「稼ぎが悪い」などと言う						
(エ) 生活費など必要なお金を渡さない						
(オ) 行動（電話やSNSなどを含む）のチェックや制限をする						
(カ) 性行為を強要する						
(キ) 避妊に協力しない						
(ク) 何を言っても無視する						

問21. あなたは、この5年間に配偶者（婚姻届を出していない事実婚や別居 中も含む）や交際相手から下表のような暴力を受けたことがありますか。1から5において、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選び○印をつけてください



	何 度 も あ っ た	1 ～ 2 度 あ っ た	な か っ た	今 ま で パ ー ト ナ ー が い な か っ た
1. 身体的暴力 (素手でたたく。殴る・蹴る。体を傷つける可能性のあるもので殴る。 首を絞める。相手に向かって物を投げる)				
2. 精神的暴力 (殴るふりやドアを蹴ったり、壁に物を投げつけて脅す。何を言っても無視する。大声で怒鳴る。「誰のおかげで生活できていんだ」「稼ぎが悪い」などと言う。)				
3. 性的暴力 (望まない性行為を強要する、見たくないのにアダルトビデオやポルノ雑誌を見せる。避妊に協力しない)				
4. 経済的暴力 (生活費など必要なお金を渡さない、生活費を細かくチェックする)				
5. 社会的暴力 (身内や友達とのつきあいや外出を禁止された、通話やSNSなどの履歴をチェックされた)				

付問1. 【問21で1から5のいずれかの暴力を受けたことがあると答えた方におたずねします】

あなたはこれまでに、受けた行為について、だれかに打ち明けたり相談したりしましたか。
あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

1. 相談した

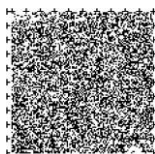
そのとき、だれ（どこ）に相談しましたか。
(○印はあてはまるものすべて)

1. 家族、親戚
2. 友人、知人
3. 警察・交番
4. 久留米市男女平等推進センター
5. 久留米市家庭子ども相談課
6. 4、5以外の公的な相談機関
7. 人権擁護委員、民生委員
8. 弁護士
9. 医師、カウンセラー
10. その他 ()

2. 相談しなかった

だれ（どこ）にも相談しなかった、できなかった理由は何ですか。(○印はあてはまるものすべて)

1. どこに相談してよいかわからなかった
2. 人に知られたくなかった
3. 相談しても無駄だと思った
4. 相談したことがわかったと仕返しをされると思った
5. 自分さえ我慢すれば何とかやっていけると思った
6. 恥ずかしいと思った
7. 世間体が悪いと思った
8. 他人を巻き込みたくなかった
9. 自分にも悪いところがあると思った
10. 相談するほどではないと思った
11. その他 ()



問22. 過去5年間で次にあげた行為をあなた自身が受けた際に、セクシュアル・ハラスメントにあ
 たりと感じたことがありますか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

1. 早く結婚しろと言われた
2. 性的な関係を求められた
3. しつこく食事に誘われた
4. メールやSNSなどで個人的なメッセージを送られた
5. 名前で呼ばずに「おばさん」「おじさん」「うちの女の子」などと呼ぶ
6. 子どもはまだかと言われた
7. 交際関係について噂をたてられた
8. 体型や容姿について言われた
9. 宴席でのお酌の強要、下品な余興
10. 性的冗談や質問をされた
11. 身体に触られた、抱きつかれた
12. 「男のくせに」「女のくせに」などと言われた
13. 彼氏（彼女）はいるのかと聞かれた
14. その他
15. いずれもない →問23へ

付問1. 【問22（1）で「いずれもない」と答えた方以外の方におたずねします】

その経験はどこで起きましたか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてくだ
 さい。

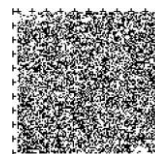
1. 職場で
2. 学校で
3. 地域で
4. 病院に入院・通院したとき
5. 福祉等の施設を利用したとき
6. スポーツや趣味の活動の場で
7. その他（具体的に： ）

付問2. 【問22（1）で「いずれもない」と答えた方以外の方におたずねします】

その後、あなたはどのような行動を取りましたか。あてはまるものをすべて選び番号に○印
 をつけてください。

1. 相手に直接抗議した
2. 家族や友人に相談した
3. 職場の上司や学校の先生などに相談した
4. 公的な相談機関や警察に相談した
5. 弁護士など法律の専門職に相談した
6. その他（具体的に： ）
7. 相談しなかった

付問2-1へ



付問2-1. 【付問2で「7. 相談しなかった」と答えた方におたずねします】

相談しなかった理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

1. どこに相談していいかわからなかった
2. 人に知られたくなかった
3. 相談しても無駄だと思った
4. 相談したことがわかったと返しをされると思った
5. 自分さえ我慢すれば何とかやっているとと思った
6. 恥ずかしいと思った
7. 世間体が悪いと思った
8. 他人を巻き込みたくなかった
9. 自分にも悪いところがあると思った
10. 相談するほどではないと思った
11. その他（具体的に： _____）

◆セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）についておたずねします

問23. セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）（※1）を知っていますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

1. 内容まで知っている
2. 名前は聞いたことがある
3. 知らない

（※1）セクシュアル・マイノリティ

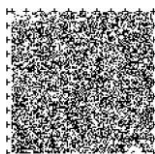
エルジービティー 性 性的指向（好きになる相手の性別）又は性自認（体に関係なく自分が認識する性）
 など、多数者とは異なる性のありようを持つ人たちの総称。

（※2）L G B Tとは

L：レズビアン 女性として女性が好きな人
 G：ゲイ 男性として男性が好きな人
 B：バイセクシャル 性別に関わらず恋愛対象になる人
 T：トランスジェンダー 産まれたときに割り当てられた性別とは異なる性別を生きる人

問24. セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）の人権を守るためにどのようなことが必要だと思いますか。あなたのお考えに近いものから2つまで選び番号に○印をつけてください。（※選択肢は次のページにつづきます。）

1. 社会全体での教育や啓発
2. 学校など、子どもたちからの教育や啓発
3. 性的少数者に関する相談や支援の充実
4. 社会制度（法制度や条例制定など）の整備



5. 社会環境（トイレなど）の整備
6. わからない
7. 特に必要ない
8. その他（具体的に： _____）

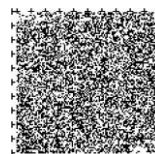
◆男女平等、男女共同参画などに関することについておたずねします

問25. 次のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるのはどれですか。それぞれについて、
あてはまるものを1つずつ選び○印をつけてください。

	内容まで知っている	名前は聞いたことがある	知らない
(ア) 男女共同参画基本法			
(イ) 男女雇用機会均等法			
(ウ) 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律			
(エ) 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）			
(オ) 政治分野における男女共同参画の推進に関する法律			
(カ) 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律			
(キ) 久留米市男女平等を進める条例			
(ク) 久留米市男女共同参画行動計画（久留米市DV対策基本計画）			
(ケ) 男女平等推進委員 （市の施策に関する男女平等の観点からの苦情の申出及び権利侵害に 対する救済の申出について、必要な処理をするための市長の附属機関）			
(コ) 女性週間（くるめフォーラムなど）			
(サ) 女性に対する暴力をなくす運動（パープルリボンキャンペーン）			

問26. あなたは、久留米市の男女平等推進の拠点として男女平等に関する講座や相談などいろいろな事業を行っている「男女平等推進センター」（えーるピア久留米内）をご存じですか。
あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

1. 知っている
2. 名前を見聞きしたことがある
3. 知らない



問27. あなたは、これまでに男女平等推進センターを利用したことがありますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

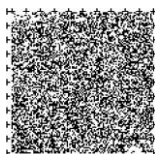
1. 毎週1回以上利用している
2. 月に1～3回程度利用している
3. 年に数回利用している
4. 今まで数回利用したことがある
5. 利用したことはない

問28. あなたは今後、男女平等推進センターでどのような事業を充実してほしいと思いますか。あなたのお考えに近いものから3つまで選び番号に○印をつけてください。

1. 男女平等（ジェンダー平等）の様々な課題を学ぶ講座
2. 女性の経済的自立のための就業・起業支援講座
3. 女性の政治参画や地域活動参画を促進するための講座
4. 男性への男女平等に関する啓発・情報提供、悩み相談
5. 子育て世代への男女平等やワーク・ライフ・バランスなどに関する啓発・情報提供
6. 学生、若者への性の正しい知識やデートDV防止などの啓発
7. 地域などに講師を派遣しての啓発・情報提供
8. DVやセクシュアル・ハラスメントなどの女性の様々な悩みについての相談
9. 図書・DVDなどの貸出資料の充実（図書情報ステーションの充実）
10. 男女平等に関する自主的な活動や研究を行っている市民グループなどへの支援や交流
11. その他（具体的に： ）
12. 特になし

問29. あなたは、男女平等をより一層進めるために、市に対してどのような取り組みを望みますか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。（※選択肢は次のページにつづきます。）

1. 固定的な性別役割分担意識にとらわれた慣習・慣行の見直しの啓発
2. 広報紙やパンフレット、講座などによる男女平等についての啓発
3. 保育所・幼稚園や学校における男女平等教育の充実
4. 行政・企業・地域などあらゆる分野で女性の積極的な登用促進
5. 女性の再就職・起業・資格取得などのための職業教育・訓練の機会の提供
6. 職場における男女の均等な取り扱い（仕事の内容・賃金など）の周知徹底
7. 男性の家事、育児、介護などへの参画を促すような啓発
8. 女性が地域で活躍するための意識啓発や人材育成
9. 防災活動における女性の参画の推進
10. 企業等へワーク・ライフ・バランスの実現に向けた意識啓発



第9回 久留米市

男女平等に関する市民意識調査 報告書

発行 久留米市 協働推進部 男女平等政策課

久留米市城南町1-5番3

T E L 0942-30-9044

F A X 0942-30-9703

E-mail danjo@city.kurume.lg.jp

